

就労支援から家族支援への展開

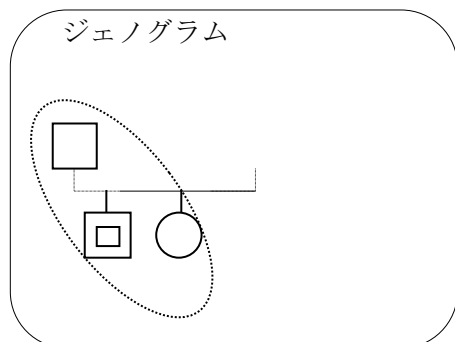
■人権キーワード：就労支援、家族支援、短期記憶障がい、介護

■相談者：男性（40歳代）

■家族状況

○父（70歳代前半）

○妹（30歳代）



■相談の主訴

現在の職場を人員削減の理由で退職することになるため、次の仕事を探したい。

■相談の経路

地域就労支援センターの相談窓口にて父とともに来所した。

■相談内容等

相談者は、現在の職場を人員削減の理由で退職することになるため、次の仕事に新たに就く必要があるとの相談で就労支援の相談窓口にて父とともに来所する。

その中で、相談者が再就職にあたって手続きなどの理解が乏しいこと、また、父がアルコール依存症で入退院を繰り返していること、父に認知症が疑われることがわかり、継続相談とする。しかし、約束の面談時に相談者が来ないことが複数回あったことから、社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）と協力して家庭訪問をする。訪問時において、相談者と父から話を聞くが、なかなか生活状況が把握できず、たまたま在宅していた妹と話すことができ、詳しい生活状況が明らかとなってくる。

当初、相談者は一人暮らしといていたが、父と妹の3人で同居をしていること、父の認知症の状況は進んでおりコミュニケーションが難しいこと、金銭的な管理は相談者の給与も含めて全て妹が行っていることなどがわかる。また、相談者は短期記憶障がいがあり、以前は通院していたが、現在は通院していないこと、作話（さくわ）やつじつまの合わないことを言うてしまうことなどが明らかとなる。

そこで、相談者との関係も継続しながら、妹からも生活状況について話を聞いていくこととする。

相談者には相談窓口から新しい仕事を紹介するが、なかなか本人の希望にあったものが見つからない状況が続く。そのような中、妹からも相談者に仕事を紹介することがあったが、CSWがその仕事の内容を確認してみると、社会保険の無い職場であった。そのことを相談者と妹に説明すると、妹自身も社会保険の無い状態で仕事をしていたことがわかった。その話から、妹も現在の仕事をやめ、社会保険のある職場への再就職を希望するようになる。

相談者は、金銭管理がきちんとできないことから妹にお金を管理してもらっているが、それが嫌なため、今後は一人暮らしをしたいという希望をもっていることがわかる。

■対応

相談者の短期記憶障がいや作話などがあり、事実の確認が難しかったが、妹との関係構築の中、家族の生活状況の把握に努める。面談の約束をしても来ないことがたびたびあり、父もアルコール依存症や認知症があることから、社会福祉協議会のCSWと協力して家庭訪問を行うこととする。医療機関とも連携し、相談者の病状についても把握を行う。

相談者の希望である再就職に向けて、職業紹介所に繋ぎ、新しい仕事を探すものの、なかなか本人の希望にあったものが見つからないため、まず障がい者手帳の取得を優先し、障がい者枠での就労を目指すこととする。失業給付の手続きも進め、医療機関についても定期的な受診となっていなかったことから、自立支援医療制度を利用し、通院するように促す。障がい福祉課、障がい者相談支援事業所、障がい者職業センター、障がい者基幹相談支援センター等と連携し、職業評価を受け、就労継続支援A型事業所に就労することとなる。

家族については妹が全てをみているような状態であり、父の介護についても負担が増えている状況であることから、父の支援について地域包括支援センターで検討してもらい、介護保険サービスを受けることとなる。妹の就労状況についても社会保険の無い状態であったため、労働条件の良いところを紹介する。

■評価および今後の課題

就労支援窓口における就労相談として始まった相談事例であるが、3人の家族それぞれの抱える課題に適切に対応していることがわかる。

短期記憶障がいを抱える相談者との定期的面談が難しいと判断した後、速やかに家庭訪問を行い、キーパーソンとなる妹との関係性の構築に努めていることも評価される。

障がい者のサービス利用や介護保険サービス利用についても関係機関と連携を取りながら、利用に結び付けている。就労支援という枠に限定せず、生活支援という幅広い支援に展開している相談事例である。今後は一人暮らしの希望もあるため、障がい者基幹相談支援センターを中心に自立生活への支援の展開も考えられる。

■連携が想定される資源

医療機関

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）

地域包括支援センター

介護保険事業所

障がい福祉課

障がい者相談支援事業所

障がい者職業センター

障がい者基幹相談支援センター

就労継続支援A型

職業紹介所

■利用が想定されるサービス

障害者総合支援法

介護保険法

地域ケア会議

見守りネットワーク